



関西大学

大阪都市遺産研究センター

NewsLetter

No. 12 2014 年 9 月 30 日

目次

「再現！道頓堀の芝居小屋～道頓堀開削 399 年～」展を開催	1
写真展「牧村史陽の写真でめぐるミナミ」開催	2
ナレッジキャピタル 1 周年「映像で楽しむ『大阪の都市遺産』」	2
写真展「牧村史陽の写真で見る大阪」	2
平成 26 年度第 1 回研究例会	3
平成 26 年度第 2 回研究例会	3
兵庫県猪名川町で「大阪の都市遺産」を開講	3
新刊紹介	4

「再現！道頓堀の芝居小屋～道頓堀開削 399 年～」展を開催

「再現！道頓堀の芝居小屋～道頓堀開削 399 年」展が、4 月 19 日から 5 月 25 日に大阪くらしの今昔館で開催された（主催：センター・大阪くらしの今昔館、協力：道頓堀商店会、後援：関西大学教育後援会・関西大学校友会）。今回の展覧会は、CG「道頓堀五座の風景」から始まる芝居町道頓堀の景観復元プロジェクトの成果公開の一環として、ゆかりの品々から往時の風情を再現することをコンセプトとした。中村儀右衛門資料や山田伸吉の絵画などのセンター所蔵資料や関西大学図書館所蔵の道頓堀ゆかりの資料、大阪くらしの今昔館所蔵の上方役者絵、大阪城天守閣所蔵の南木コレクション古写真など 130 点余りが出品され、儀右衛門資料の洋風浪花座プランをもとに、会場の企画展示室を芝居小屋に見立

て、カーテンで仕切られた小屋の内部には、青森県在住の古民家模型製作者の方によって制作された「幻の浪花座」の模型（1/30）が展示され、正面スクリーンには、大道具帳などから舞台背景画のデジタル画像が投影された。

能勢人形浄瑠璃鹿角座による三番叟の華々しいオープンニングのほか、会期中には、成瀬國晴氏などによる講演会「芝居町道頓堀 いま・むかし」、肥田皓三氏らを迎えたミュージアムトーク「芝居町道頓堀と康楽館」などの関連行事が開催され、いずれも平日にも関わらず定員 300 名の会場が満席となるほどの盛況ぶりであった。

大阪くらしの今昔館は、海外のガイドブックにも掲載されるほどで、今回の展覧会でも国内外から 7434 名の



入館者を数えた。

なお、展覧会の開催は、サントリー文化財団・関西大

学教育研究緊急支援経費による研究成果の一部でもある。
(特別任用研究員 櫻木 潤)

写真展「牧村史陽の写真でめぐるミナミ」開催

7月23日から9月9日にかけて、なんばオリエンタルホテルにて、写真展「牧村史陽の写真でめぐるミナミ―道頓堀・千日前の風景―」(主催:なんばオリエンタルホテル・センター、後援・協力:道頓堀商店会)が開催された。

牧村史陽(1898～1979)は大阪の郷土史家で、『大阪ことば事典』(講談社、1979年)の著者として知られているが、無類の写真マニアでもあった。センターは、彼が撮影した写真のうち6444枚を「牧村史陽氏旧蔵写真」として所蔵しており、それらのデジタルアーカイブ化をすすめてきた。

この展示では、高度経済成長期に大きく変わりゆくミナミの風景を味わっていただくべく、昭和30年代から40年代にかけて撮影された道頓堀・千日前の写真22点を展示した。

近年、ミナミは海外からの観光客が多く訪れることも

あって、国際都市へと変貌しつつある。そのため、展示案内などには、日本語だけでなく、英語・中国語・韓国語の翻訳を付けた。期間中にホテルを利用した人は10万人をかぞえ、国内外の多くの人の目に触れることができたのは、何よりも大きな成果といえる。

(P.D. 中尾 和昇)



ナレッジキャピタル1周年「映像で楽しむ『大阪の都市遺産』」

5月14日(日)、グランフロント大阪北館(大阪市北区)のナレッジキャピタルの1周年記念イベントの一環として、コングレコンベンションルーム8にて「映像で楽しむ『大阪の都市遺産』」を開催した。

関西大学大阪都市遺産研究センターでは、大阪の文化遺産に関する研究成果を映像化したコンテンツを制作している。本イベントではこれらの映像コンテンツを集成し、「関西大学大阪都市遺産研究センター 映像コンテンツ・コレクション」として公開した。

公開された映像コンテンツは、①関西大学が立地する大阪府吹田市の文化遺産に焦点を当てた小中学生向け副教材、②「豊臣期大坂図屏風」研究プロジェクト、③道頓堀研究プロジェクトの3つのテーマに分かれて計5本の内容である。

1周年イベントの開催時間である13:00から17:00の間に、2回にわたって本研究センターの内田吉哉(特別任用研究員)が映像コンテンツについて解説セミナーを行った。

(特別任用研究員 内田 吉哉)



写真展「牧村史陽の写真で見る大阪」

5月18日(日)から5月23日(金)にかけて、大阪都市遺産研究センター1階セミナー室において、写真展「牧村史陽の写真で見る大阪」を開催した。

本センターが所蔵する「牧村史陽氏旧蔵写真」は、大

阪の郷土史家・牧村史陽(明治31年〔1898〕～昭和54年〔1979〕)が撮影した写真コレクションで、高度経済成長期に大きく変貌する大阪の都市景観を研究する貴重な写真資料である。現在、本センターでは、この写

真コレクションのデジタルアーカイブ化を進めている。
その研究成果の一部として、今回の写真展では、昭和
30年代～40年代の大阪市内の風景を写した写真を地



域別を選び、28枚を展示した。本写真展では、会期を
通して計2372名の来場者があった。

(特別任用研究員 内田 吉哉)



平成26年度第1回研究例会

6月11日(水)、センター2階会議室にて、平成26
年度の第1回研究例会を開催した。「豊臣期大坂図屏風」
がヨーロッパへ渡ったルートには、オランダ東インド会
社が関わった可能性が高いと考えられる。そこでイサベル
・ファン・ダーレン氏(日蘭学会)に本センターが所蔵
する「オランダ東インド会社役員会決議事項集成」(マ
イクロフィッシュ779枚)の調査を依頼し、その成果
に基づく報告を行っていただいた。

「オランダ東インド会社役員会決議事項集成」は、オ

ランダ東インド会社の最高統治機関における1602年か
ら1796年までの決議事項の集成資料で、原本はオラン
ダ・ハーグの国立文書館に所蔵されている。本センター
が所蔵するのはそのマイクロ撮影資料である。

報告の後は、近世初期の日蘭貿易において「豊臣期大
坂図屏風」がどのように扱われたかを解明するために、
今後どのような調査・研究が必要となるかについての議
論が交わされた。

(特別任用研究員 内田 吉哉)

平成26年度第2回研究例会

今年度の第2回研究例会が8月2日に開催された。
今回は、「芝居町道頓堀の景観復元プロジェクト」と「商
都大阪」班で進める大阪府立中央図書館所蔵の住友文庫
医学学位論文の調査をテーマとし、ディミトリー・ヴァ
ノーヴェルベケ研究員(ルーヴェン・カトリック大学
人文学部教授)とフランツィスカ・カッシュ氏(大阪大
学大学院文学研究科博士後期課程・臨床哲学)を迎えて
行われた。

ディミトリー研究員からは、ヨーロッパにおける景観
復元プランや日本学からみた芝居町道頓堀復元CGの意義
などのコメントがなされ、続いてカッシュ氏から「19世
紀のドイツにおける医学の発展」と題した報告があった。

その後の議論では、国際的な見地から大阪の都市遺産
についてさまざまな視点から課題が提起された。

(特別任用研究員 櫻木 潤)



兵庫県猪名川町で「大阪の都市遺産」を開講

センターでは、2014猪名川町生涯学習カレッジ「リ
バグレス猪名川」で「大阪の都市遺産」を開講している。
昨年度の大学コンソーシアム大阪の前期科目として開講

した「大阪の都市遺産—都市遺産の魅力をさぐる—」の
プログラムをもとに、「大阪城」「船場」「道頓堀」「住吉」
「堺」などのエリアに焦点をあてて大阪の都市遺産を紹

介する。5月10日の藪田センター長による記念講演「大阪の都市遺産をめぐって～もう一度学ぶ日本／大阪～」を皮切りに、猪名川町生涯学習センターで、来年1月末まで全12回の研究員によるリレー講義として行われている。

猪名川町は兵庫県の南東部に位置し、大阪府とは、府北部の豊能郡能勢町と接しており、大阪圏・神戸圏のベッドタウンである。当初は、猪名川町で大阪をテーマに開

講することに戸惑いがあったものの、受講生には、大阪市内出身者や大阪市に通勤していた方も多く、約50名の受講生の方々は熱心に毎回の講義に耳を傾けられている。

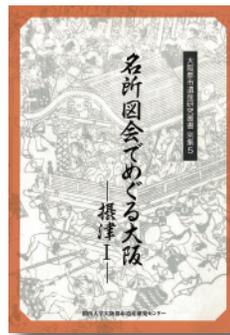
多田銀銅山や木喰仏などの魅力的な文化遺産を有する猪名川町での「大阪の都市遺産」の開講が、大阪の魅力を再発見する機会になるとともに、地元の文化遺産を考える契機になればと考えている。

(特別任用研究員 櫻木 潤)

新刊紹介



大阪都市遺産研究 第4号
(関西大学大阪都市遺産研究センター、平成26年3月31日)



高橋隆博・黒田一充・長谷洋一
監修、中尾和昇編『名所図会で
めぐる大阪 一撰津Ⅰ』(大阪
都市遺産研究叢書 別集5、
関西大学大阪都市遺産研究セ
ンター、平成26年3月28日)



朝治啓三編著『住友文庫ドイツ
医学学位論文目録 第二巻』
(大阪都市遺産研究叢書 別集
4-2、関西大学大阪都市遺産研
究センター、平成26年3月31日)



林 武文・内田吉哉編著『「牧村
史陽氏旧蔵写真」目録』(大阪都
市遺産研究叢書 別集6、関西
大学大阪都市遺産研究センター、
平成26年3月31日)



黒田一充・長谷洋一・
櫻木 潤編『再現! 道頓堀の芝居小屋
～道頓堀開削399年～』(関西
大学大阪都市遺産研究
センター、平成26年4
月19日)



朝治啓三編著『住友文庫ドイツ
医学学位論文目録 第三巻』
(大阪都市遺産研究叢書 別集
4-3、関西大学大阪都市遺産研
究センター、平成26年7月31
日)

関西大学大阪都市遺産研究センター NewsLetter No. 12 2014年9月30日発行

発行・編集 関西大学大阪都市遺産研究センター

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 関西大学博物館内

TEL 06-6368-0095 FAX 06-6368-0092

<http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/osaka-toshi/>

mail osaka-toshi@ml.kandai.jp

